

# 警戒レベルと避難行動

## 警戒レベル

災害発生の危険度及びとるべき避難行動を、住民が直感的に理解するための情報です。それぞれの状況に応じて避難できるよう、災害発生の危険度と町民の方々がとるべき行動は5段階の「警戒レベル」に分類されます。

### <避難情報等>

警戒レベル	住民がとるべき行動	避難情報等
5	<p><b>命の危険 直ちに安全確保!</b></p> <p>既に災害が発生している状況です。命を守るための最善の行動をとりましょう。</p>	<p><b>緊急安全確保</b> (町が発令)</p>

### <警戒レベル4までに危険な場所から必ず避難!>

4	<p><b>危険な場所から全員避難</b></p> <p>速やかに近くの高い場所、自宅内の2階以上など、高い場所に避難しましょう。</p>	<p><b>避難指示</b> (町が発令)</p>
3	<p><b>危険な場所から高齢者等は避難</b></p> <p>避難に時間を要する人(ご高齢の方、障害のある方、乳幼児等)とその支援者は避難をしましょう。その他の人は、避難の準備を整えましょう。</p>	<p><b>高齢者等避難</b> (町が発令)</p>
2	<p><b>自らの避難行動を確認</b></p> <p>避難に備え、ハザードマップ等により、自らの避難行動を確認しましょう。</p>	<p><b>氾濫注意報等</b> (気象庁が発表)</p>
1	<p><b>災害への心構えを高める</b></p> <p>災害への心構えを高めましょう。</p>	<p><b>早期注意情報</b> (気象庁が発表)</p>

### <防災気象情報>

警戒レベル相当情報(例)

警戒レベル5相当情報

氾濫特別警報 (●●●川)  
気象特別警報 等

警戒レベル4相当情報

氾濫危険警報 (●●●川)  
気象危険警報 等

警戒レベル3相当情報

氾濫警報 (●●●川)  
気象警報 等

警戒レベル相当情報は、自主的に避難行動をとるために参考とする情報です。

(国土交通省、気象庁、愛知県が発表)

## 避難するときは

動きやすい服装、  
2人以上での避難

避難するときは動きやすい服装で、2人以上の集団で避難しましょう。靴については、長靴は中に水が入ると危険です。脱げにくい靴を履きましょう。



冠水している  
道路は避ける

冠水している道は、マンホールの蓋が開いていても水で見えなかったり、側溝へ足を取られたりと大変危険です。冠水している道は避けて避難しましょう。やむを得ずそうした道を通る場合は、長い棒などで地面を探りながら避難しましょう。車は水に浸かると動かなくなり、水防活動の妨げにもなるため、自動車での避難は控えましょう。



川や用水路の様子は  
見に行かない

増水した川や用水路を見に行くことは大変危険です。避難の際も、川や用水路の近くは通らないようにしましょう。

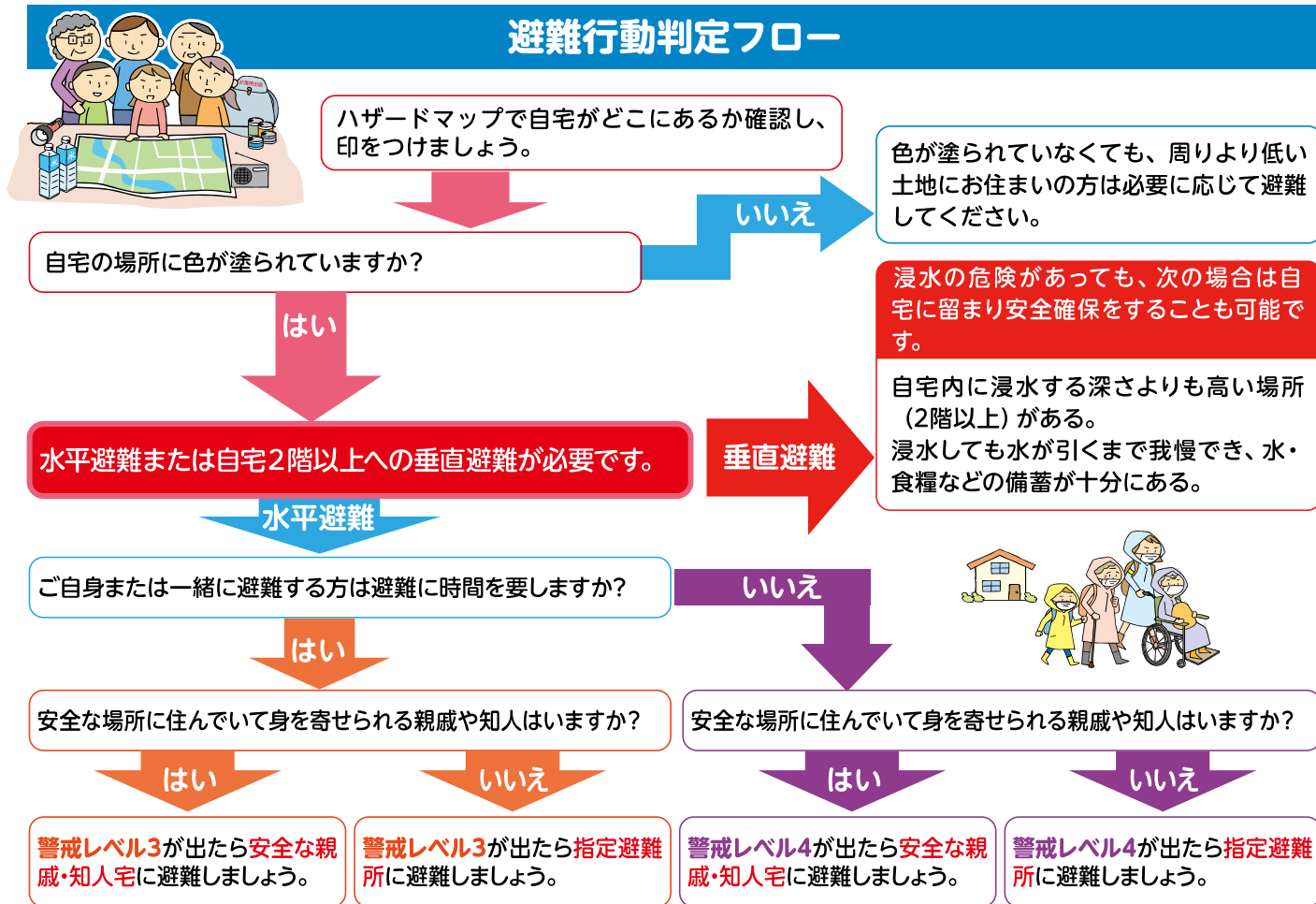


警戒レベル5を待っていると「手遅れ」になります。反対に、早めに対処することで車を高台へ移動させたり、家具を2階へ運んだりすることもできます。

# あなたがとるべき避難行動

風水害はどこで発生してもおかしくありません。避難指示の発表を待つのではなく、周りの状況を見て、以下の避難行動判定フローを参考に行動してください。

## 避難行動判定フロー



参考：内閣府「避難情報に関するガイドラインの改定」（令和3年度）

## 水平避難と垂直避難

水平避難とは、今いる危険な場所から可能な限り遠くにある安全な場所へ向かう避難方法のことです。

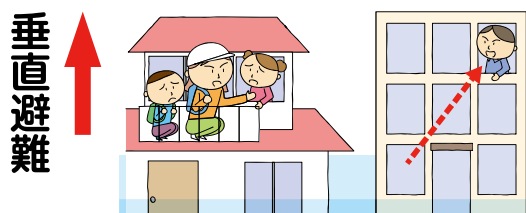
垂直避難とは、災害時に安全な場所と空間を確保するために上下垂直方向に避難することです。津波や洪水の際に家や避難施設の高所階に上がったたり、地震の際に高層ビルの上階から地表に下りたりすることをいいます。

### 安全に避難できるときは



水平避難

### 安全な避難が困難なときは



垂直避難



ひとくちメモ 水害時にどこへ逃げるかは予め決めておき、一度その道を歩いてみると良いでしょう。橋や側溝など、意外な危険箇所があるかもしれません。